

一般質問

◆移住・定住について

質問 移住者の推移と年代や世帯構造、移住理由について伺う。

答弁 今年7月末現在で101世帯160人である。県移住登録サイト登録者へのアンケートによると、20代が最も多く、50代、30代と続き、約9割が単身世帯である。就職・転職のためのUターン者が多く、家族の存在が移住の決め手となっている。

質問 移住する上で仕事やネットワークになると思うが、テレワークができるシェアオフィスの整備状況について伺う。

答弁 現在、整備については特段考えていないが、今後開館する駅前の複合施設には、周辺環境を整え、一定の需要に応えられると考える。

◆雇用について

質問 本市の雇用状況と人手不足への対応について伺う。

答弁 建設業と介護サービス業において労働力が不足しているが、対策として資格取得に係る補助金を整備し人材確保と労働生産性の向上を支援している。

質問 産業団地を今後整備する予定ではあるが、もう少し早く計画すべきではなかったか伺う。

答弁 うれしい誤算で岩崎、成沢とも全て埋まってしまい、少し遅れた感が否めないと思っている。

◆教育について

質問 児童・生徒の発育や健康状態について伺う。

答弁 発育は良好であるが、視力の矯正は増加傾向にある。

質問 全国学力・学習状況調査の状況について伺う。

答弁 今年度は小学校では国語、算数ともに全国平均を上回っているが、中学校では国語は全国平均を上回ったものの、数学は若干下回っている。



◆湯沢市災害時要援護者

避難支援プランについて

質問 災害時要援護者避難支援プランと自主防災組織の連携について、どのように考えているか伺う。

答弁 災害時要援護者避難支援プランを有効に活用していくためには、自主防災組織との連携が非常に重要であり、災害時要援護者避難支援プランを活用して、平時時の声かけ、見守り、または、実際に避難訓練の実施などの連携をしながら進めていくことを考えている。

◆水道水の水質管理について

質問 県央部の市の水道水からネオニコチノイド系の農薬が検出されたとの報道があるが、所見を伺う。

答弁 ネオニコチノイド系の農薬については、アブラムシやカメムシなどの害虫を駆除するために使用されている農薬であり、本市においても水道水の水質を管理する上で、十分に留意すべき事案であるため、水源と

農地の位置関係を踏まえた検査箇所を選定し、9月中旬に検査を行い、安全性を確認する。

◆市内河川等の水質状況について

質問 国内各地の河川や井戸水から、発がん性のおそれのある化学物質「PFAS」（ピーファス）が、大量に検出されているとの報道があるが、所見を伺う。

答弁 PFASは1万種類以上あると言われている有機フッ素化合物の総称であり、主にメッキ処理剤や泡消火剤に使用されている。人体に有害な可能性も指摘されており、市民の健康を守る上から、今後の展開に注視していく。

